

[抜粋]

社会の「知力」を高めるために

～ 月刊技術士4月号 より ～

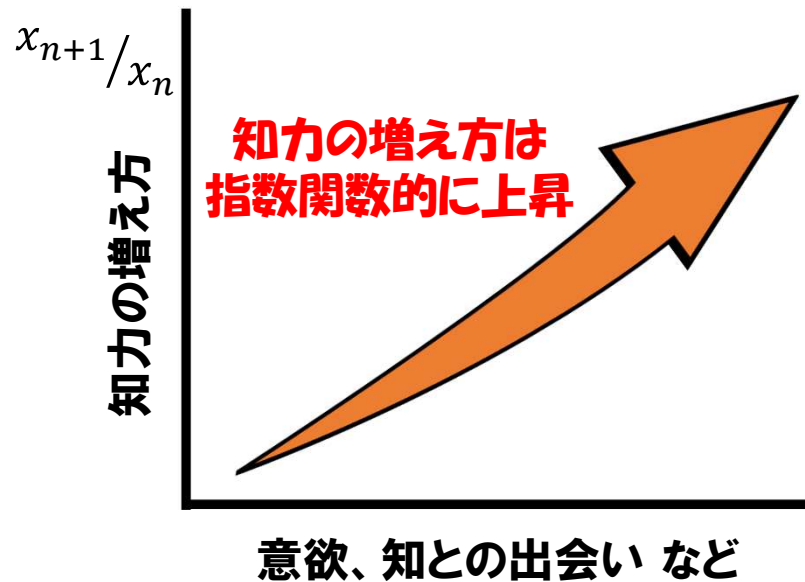
技術士 池田和人

化学部門 [化学装置および設備]
総合技術監理部門

$$x_{n+p} = x_n \exp [A\{y m(z_{n+p} - z_n) - (f_{n+p} - f_n)\}] \quad [8]$$

指数関数

知力増加関数



x_n : 第n年次に持っている知力

y_n : 意欲の強さ

m_n : 吸収率 (<1) [吸収能力]

Δz_n : 1年間に出会う知の量

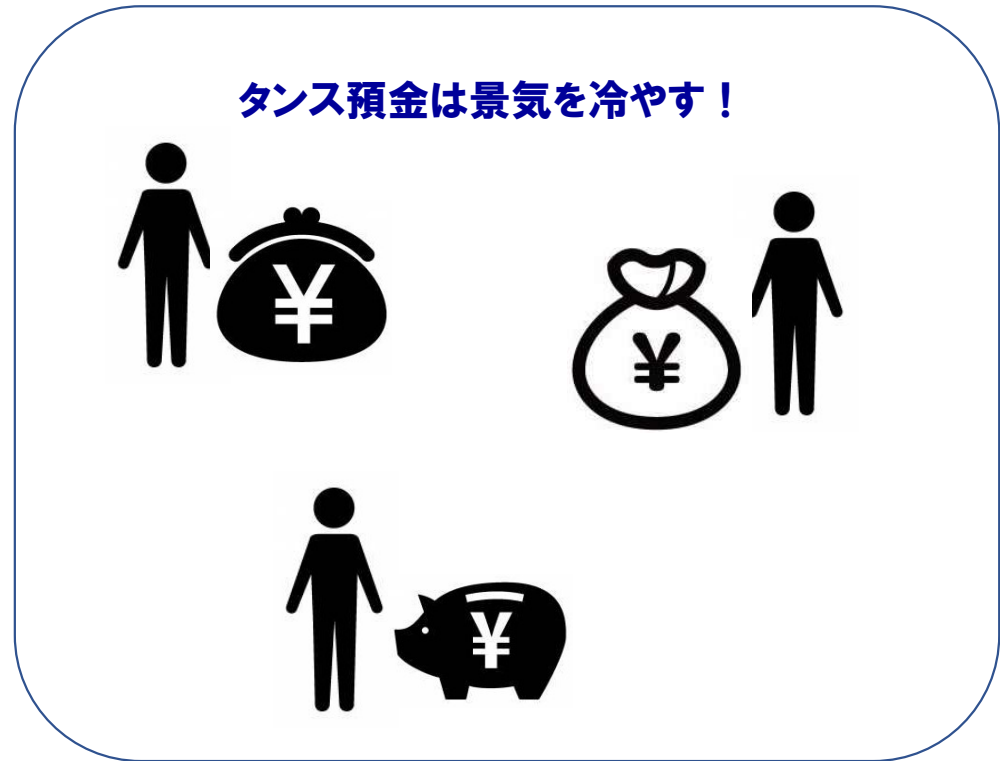
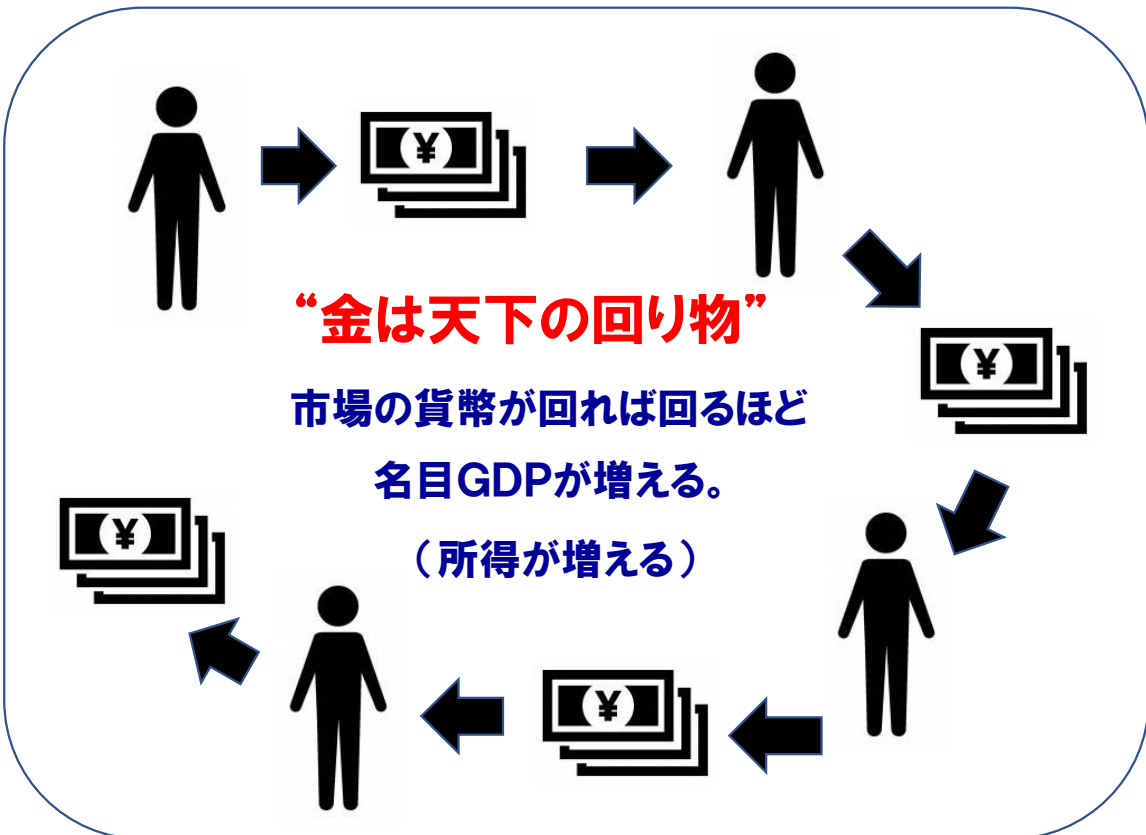
Δf_n : 1年間の忘却率

A : 比例定数

さらに深掘りする

“貨幣数量方程式”

$$M \times v = PY \quad [9]$$



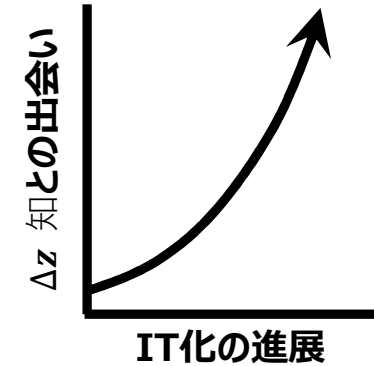
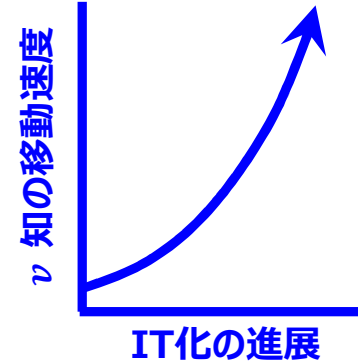
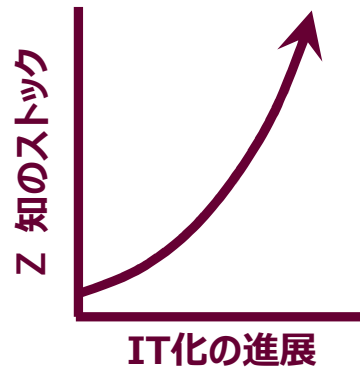
最近「IT化の進展」により「知のストック」と「知の移動速度」は飛躍的に増えている。

$$Z \times v = \Delta z \quad [10]$$

Z : 知のストック (知の蓄積)

v : 知の移動速度 (伝達速度)

Δz : 1年間に会う知の量



そこで重要になるのは、

出会った知を意欲を以て吸収しなければならない。【次章】へ

$$x_{n+1} - x_n = A \times (x_n y_n m_n \Delta z_n - x_n \Delta f_n) \quad [4]$$

$$x_{n+p} = x_n \exp[A\{y_n m_n (z_{n+p} - z_n) - (f_{n+p} - f_n)\}] \quad [8]$$

x_n : 第n年次に持っている知力

y_n : 意欲の強さ

m_n : 吸収率 (<1) [吸収能力]

Δz_n : 1年間に会う知の量

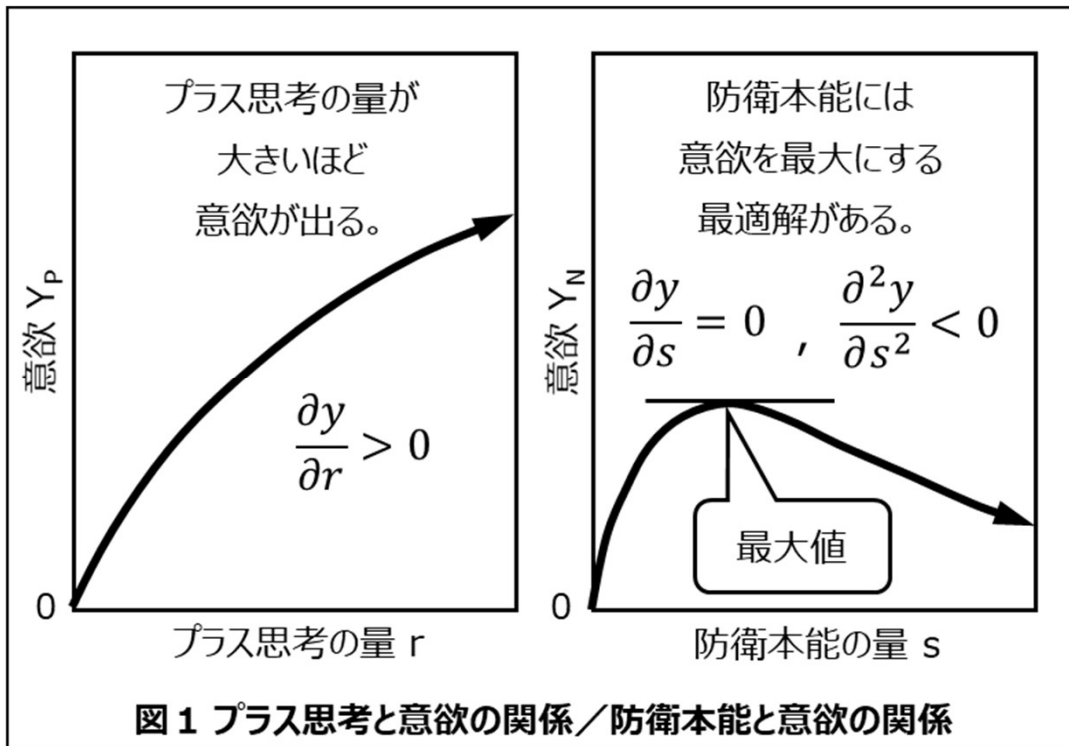
Δf_n : 1年間の忘却率

A : 比例定数

「意欲」を最大にする社会とは？

「防衛本能」には、意欲を最大にする最適解がある。

この最適解は“怠け心が出ない程度”に大きく、
“失敗を恐れず萎縮しない程度”に小さい。



一方、防衛本能が最適であっても、
「プラス思考」が軽視された社会では、
“ネガティブなやらされ感”が根付いてしまふ。

意欲を最大にするには、

- ① 「防衛本能を最適に」した上で、
 - ② 人々の「プラス思考」を果敢に育てねばならない。
- そうすれば、人々は “ポジティブな意思”により
強く楽しく行動できる。

防衛本能につながる「失敗責任」や「罰則」を
「防衛本能が最適に」なるように調整した上
自由でフェアな競争環境、明確で実現可能な
目標
チームワーク、賃金の上昇、明るい風土
を積極的に整えねばならない。